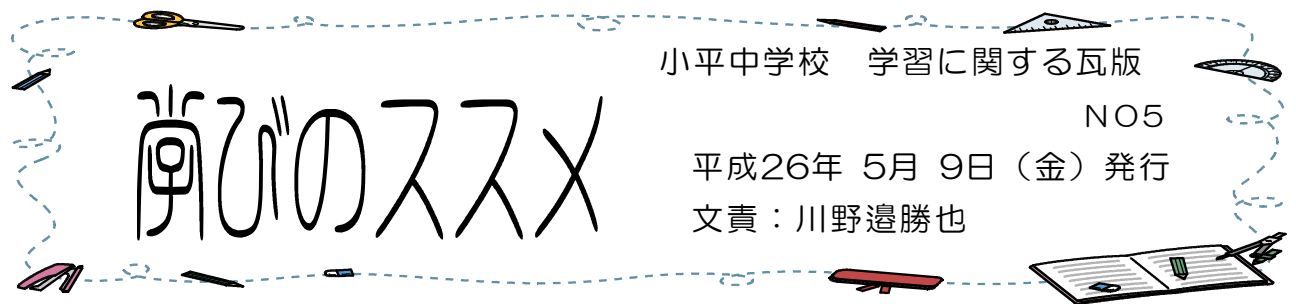




基礎学力確認テストに向けて

5月22日（木）に今年度最初の定期テスト「基礎学力確認テスト」が行われます。2・3年生はよく分かっていると思いますが、このテストは、各教科の基礎的・基本的な学習内容の定着と学習習慣の確立を目標として行われるテストです。教科によって多少差はあると思いますが、一問一答方式で答えていく問題がほとんどで、反復学習を徹底することで高得点が期待できるテストでもあります。（平均点の設定は80点程度です。）

昨日、テスト範囲表が配付されました。今日から数えてテストまで13日です。5教科のテスト勉強をするわけですから「計画性」がないとテスト範囲を網羅せずに終わってしまう…なんてことも。

以下、テスト計画を立てる際のポイントについてふれますので、是非参考にしてください。（2・3年生にとっては昨年ふれたことの再確認です。）

【テスト計画を立てる際のポイント】	
Point1	「結果の目標」を適切に設定すべし！
「結果の目標」とは目標点数のこと。それぞれの教科で何点とるのかを設定しましょう。その際、大切なことはあまり欲張らないこと。少し背伸びをすれば届くくらいの目標設定がよしとされます。（例えば、これまでのテストで80点とれた人は85点ぐらい。1年生は初めての定期テストなので難しいかもしれませんが、各教科で80点程度を平均点の目安にしていますので、それが一つの指標になるでしょう。）	
Point2	次の日に学習する内容を前日までにしっかりと決めておくべし！
テストまでの2週間分の計画をしっかりと立てることは意外と難しいものです。（それができれば素晴らしいと思いますが…）計画は変化していくものと考えておいた方がよいでしょう。ただ、せめて、次の日に何を学習するのかだけは前日までにしっかりと決めておきましょう。	
その日にやることが事前に決まっていれば、机に向かった時に悩む必要がなく、すぐに学習に入れます。やることが決まっていないと、「今日は何を勉強しよう？」と悩むところからスタートしてしまい、時間がどんどん過ぎていきます。そして、それと同時に「やる気」も失われていくのです。	
Point3	学習の足跡を残すべし！
テスト計画は、「先を見通す」という役割を持っていますが、同時に「過去を振り返る」という役割も担っていると思います。Point2でもふれたように計画はその日の状況によって刻々と変化していきます。予定を変更したところは朱書き（赤ペン）で訂正しておきましょう。そうしておくことで、テスト計画が形式的なものではなく、より現実のものとなり、活用し得るものとなっていきます。	

